



9月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和7年9月1日

真夏日が連日続いています。気象庁では、「暦の上では秋でも高温が予想されていますので、熱中症対策を続けてください。」と呼びかけられています。引き続き、健康管理に留意し、こまめな水分と適度な塩分補給、通気性の良い衣服、帽子着用を心掛けていきましょう。

さて、8月9日（土）に、会津若松市において「福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会会津大会」が開催されました。教育・保育評論家、東京大学名誉教授・白梅学園大学名誉学長の汐見稔幸先生により「未来を担う子どもたちの幼児教育とは何か・・・」というテーマで記念講演がありました。汐見先生からは、ルソーの「エミール」という著書より、教育について“人間の幸せのためにどうしたら良いか？”というお話がありました。「社会教育論」や「人権宣言」のお話をしながら、人は一人では生きていけないので、皆にとって良いことを一緒にやっていける、又自分や皆を大切にする人に育てることが必要だということでした。

また、学校の成績だけではなく、人の気持ちを汲む力や自分で答えを作る力、失敗をめげないで試行錯誤したり、皆で協力しながら乗り越えていく＝非認知能力を付けることが大切です。それは特に幼児期の『遊び』を通して養われます。改めて「遊び」とは、自発的で自由な活動で、結果以上に「過程」を楽しみ、その過程で学びが多様に生まれ自己充実の活動です。遊ぶことで「創造性」「社会性」「問題解決能力」「身体能力」「感情の発達」＝非認知能力が育ちます。これからAIの社会で活躍していける人に成長するために、幼いころから自然の中で偶然起こる問題に対応する力をつけることや、体力をつけることが効果的だそうです。ロボットなどが作業をこなしていくようになった時に、人間の生き甲斐や生きる喜びを手に入れられるよう、幼児教育が担う役割は大きいです。こども園でも、引き続き、子どもたちの「やりたい」という声に耳を傾け、それに応じた環境を整え、楽しく取り組み、遊びを深めて参ります。

9月1日は防災の日です。「天災（災害）は忘れた頃にやってくる」と言われているように、大災害はくり返されています。過去に起きた地震や台風の被害を決して忘れず、日頃の訓練を怠らず、「備えあれば憂いなし」を肝に命じ、毎月の避難訓練にも力を入れていきたいと思います。そして、9月15日は敬老の日です。多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日です。園では16日に祖父母参観日があります。日頃の子どもの様子をご覧いただいたり交流を深め楽しいひと時を過ごして参ります。